



国際ロータリー 第2640地区
第5組

2005～2006年度

INTERCITY MEETING

報告書



基調講演

パストガバナー 戸田 孝

討 論

リーダー 大澤徳平

部門別会議

ロータリー財団委員長会議 / 米山奨学会委員長会議 / フレッシュ会員の集い

参加クラブ

藤井寺RC・藤井寺しゅらRC・羽曳野RC・河内長野東RC・松原RC・松原中RC・美原RC
大阪狭山RC・太子RC・富田林RC・富田林南RC・河内長野RC

日 時 / 2005年 11月 5日(土)

委員長他事前会議 受付・登録 10時30分～11時
I.M.本会議 受付・登録 12時30分～13時

会 場 / 河内長野市立文化会館(ラブリーホール)

河内長野市西代町12-46 TEL. 0721-56-6100

ホストクラブ 河内長野ロータリークラブ

R.I.テーマ **超 我 の 奉 仕**
 I.M.5組テーマ ロータリーの道 それは「超我の奉仕」だ

ご 来 賓

(敬称略)

河内長野市長

第2660地区 パストガバナー
 第2640地区 直前ガバナー
 第2640地区 パストガバナー
 第2640地区 パストガバナー
 第2640地区 パストガバナー
 第2640地区 パストガバナー
 第2640地区 パストガバナー
 第2640地区 ガバナーエレクト・ガバナー補佐
 第2640地区 ガバナー補佐
 第2640地区 ガバナー補佐
 第2640地区 職業奉仕委員長
 第2640地区 職業奉仕副委員長
 第2640地区 職業奉仕委員
 第2640地区 財団奨学金委員長
 第2640地区 米山奨学事業委員長
 第2640地区 米山奨学事業委員
 第2640地区 代表幹事

橋上 義孝
 戸田 孝(八尾RC)
 中島治一郎(泉大津RC)
 大丸 昌讓(堺南RC)
 中村 幸吉(富田林RC)
 水田 博史(岸和田東RC)
 前田 孝道(和歌山東南RC)
 小島 哲(泉大津RC)
 三軒 久義(河内長野東RC)
 杉江 徳久(藤井寺しゅらRC)
 河井 恭一(富田林南RC)
 桃田 隆彦(和泉RC)
 角谷 浩二(泉南RC)
 丸山 信仁(御坊RC)
 岩本 行弘(富田林南RC)
 神谷 尚孝(和歌山東南RC)
 松下 光春(泉南RC)
 楠部 賢計(海南東RC)

主催役員

第2640地区 ガバナー
 第2640地区 パストガバナー・ゼネラルリーダー
 ホストクラブ会長
 I.M.実行委員長

平尾 寧章(海南東RC)
 大澤 徳平(堺RC)
 石倉 保彦(河内長野RC)
 塔本 勝(河内長野RC)

I.M.Program

第1部 部門別会議(事前会議)

時間	所要時間	事項	担当者名
10:30~11:00	30分	事前会議 受付・登録	
11:00~12:00	60分	ロータリー財団委員長会議 米山奨学会委員長会議 フレッシュ会員の集い	地区財団奨学金委員長 岩本 行弘 他 地区米山奨学事業委員長 神谷 尚孝 他 地区職業奉仕委員長 桃田 隆彦 他

第2部 本会議

12:30~13:00	30分	本会議 受付・登録	
13:00~13:20	20分	開会式 1. 点鐘 2. 国歌・ロータリーソング 3. 開会の辞 4. 歓迎の辞 5. 祝辞 6. ガバナー挨拶 7. ゼネラルリーダー挨拶 8. 来賓紹介 9. 参加クラブ紹介 10. 出席報告	司会 I.M.S.A.A. 辰己 明 ホストクラブ会長 石倉 保彦 ソングリーダー 濱田 郁子 I.M.実行委員長 塔本 勝 ホストクラブ会長 石倉 保彦 河内長野市長 橋上 義孝 第2640地区ガバナー 平尾 寧章 ゼネラルリーダー 大澤 徳平 I.M.実行委員長 塔本 勝 I.M.S.A.A. 辰己 明 登録委員長 井戸 清明
13:30~14:30	60分	基調講演	第2660地区バスターガバナー 戸田 孝
14:30~15:30	60分	討論	討論リーダー 大澤 徳平
15:40~16:00	20分	閉会式 1. 総評 2. 次年度ホストクラブ紹介 3. 次年度ホストクラブ挨拶 4. 閉会の辞 5. 手に手つないで 6. 点鐘	司会 I.M.S.A.A. 辰己 明 ゼネラルリーダー 大澤 徳平 第2640地区ガバナー 平尾 寧章 富田林南RC会長 田中 芳雄 I.M.副実行委員長 谷 洋治 ソングリーダー 濱田 郁子 ホストクラブ会長 石倉 保彦

【開会の辞】



I.M.実行委員長 塔本 勝

皆様こんにちは。ご来賓をはじめロータリアンの皆様、ようこそお越し頂きまして誠にありがとうございます。

久々に河内長野ロータリークラブにI.M.のホストが廻ってまいりました。毎年I.M.に対し、それぞれのクラブが新しい試みで取り組まれてきたように、我々も大澤徳平ゼネラルリーダーのご指導を受け、全員で真剣に考え、準備してまいりました。

R.I.テーマが、最も基本となる「超我の奉仕」ということであり、I.M.においても、この奉仕の基本をさらに勉強する為、いろいろなI.M.のやり方がある中で、討論に重点をおいてやろうという事になりました。

本日ご参加の皆様は、奉仕に対してまじめに取り組まれる、素晴らしいロータリアンであろうと思われれます。

ぜひ、最後までお付き合い下さいまして、実りあるI.M.になるようご協力下さい。

尚、討論以外は簡素化に努めましたので、ご不満の点もあろうかと思われれますが、ご容赦下さい。どうぞ宜しくお願い致しましてご挨拶に代えさせていただきます。

【歓迎の辞】



ホストクラブ会長 石倉 保彦

2005～06年度第2640地区第5組のインターシティーミーティングを開催するに際し、ホストクラブを代表して、一言歓迎の挨拶を申し上げます。

平尾寧章ガバナー、大澤徳平ゼネラルリーダー、基調講演をお願いしております戸田 孝様はじめ、来賓の方々ならびに多数の会員の皆様ようこそ河内長野にお越し頂きました。心から歓迎申し上げます。また地元河内長野市長の橋上義孝様には、ご多忙の中にも関わりませずご出席いただきありがとうございます。

R.I.ステンハマー会長は、奉仕の第2世紀の初年度として、「超我の奉仕」をテーマとされました。これはロータリー活動の基本とはいえ、これを理解し、身につけ、奉仕活動に結びつけることの困難さを今、身にしています。

平尾ガバナーのご要請にお答えし、大澤徳平ゼネラルリーダーのご指導の下で行われます第5組のI.M.が、本年度テーマ「超我の奉仕」の理解を深め、会得するにふさわしい場になることと期待しています。

基調講演の講師をどなたにお願いするかを大澤ゼネラルリーダーにご相談したとき、即座に八尾RCの戸田 孝様をご推薦いただきました。戸田様には快くお引き受けいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

八尾RCと河内長野RCとは、今を去る45年前、大阪歌舞伎座で共に認証状伝達式を行った9クラブの中の2つのクラブです。

そういう縁もあって、本日の基調講演の講師に戸田 孝様をお招きできましたことに感謝申し上げます。

塔本I.M.実行委員長はじめ河内長野ロータリークラブ全員で準備を進めてまいりましたが、何分不行き届きの点が多々あるかと思えます。どうかロータリーの友情に免じてお許し頂きたいと思えます。今日の会合の成果は、これからのロータリーの奉仕活動に役立つとともに、クラブの活性化、地域の活性化につながるものと期待し、歓迎の言葉と致します。ありがとうございました。

【ガバナー挨拶】



第2640地区ガバナー 平尾 寧章

I.M.5組の皆様こんにちは。そして、ホストクラブの河内長野ロータリークラブの皆様、大変ご苦勞様です。

地区大会の折には、多くのメンバーにご参加を頂き、最後に三軒ガバナーエレクトに締めくくって頂き、無事終了することができました。本当にありがとうございました。

さて、本日のI.M.は、戸田 孝パストガバナーの基調講演がメインとなっております。先程、戸田氏とお会いしましたが、ロータリー歴も長く、人柄も素晴らしい方と拝見致しました。とても楽しみにしております。

結びになりましたが、次年度地区大会、I.M.のホストクラブを担当して頂くI.M.5組の皆様に敬意を表しまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございます。



『ロータリーの道 それは「超我の奉仕」だ』

第2660地区パストガバナー 戸田 孝

があります。ロータリーの奉仕の実践が、現在の幸福論の第一に挙げられるものです。大和言葉で「幸福」のことを「仕合わせ」という。これは、「することを合わせる」で「一緒にやろう」ということです。これが人間の幸福感なのです。

- ⑤ ロータリーの第一の仕事は人作りです
「四つのテスト」を作り第50代会長のハーバード・テラー氏は、「我が自叙伝」の中で「ロータリーがしなければならない大きい仕事に、人格者を育てること、つまり人づくりがあるのではないかと、有能な人物を育成すること。良い市民、良い指導者を育て上げること、そのことこそ、ロータリーの第一の仕事ではないか」と書き記しています。

1, 貴方にとってロータリーとは何でしょう? 素晴らしきかなロータリー

- ① 平沢ガバナーに学んだ「恕」の心
皆さんにとってロータリーとは何でしょう? 私もそのことで悩んだ時期がありました。先輩のロータリアンから「幹事を経験すれば、ロータリーがよくわかりますよ。」と教えられましたが、「クラブの運営や手続きはよくわかったが、肝心のロータリーとは何か全く分からず、無力感を覚えたものです。」平沢ガバナー(元京都大学の総長で温かいお人柄の有名人)の公式訪問があった年のことです。ある会員が平沢ガバナーに「この世の中を生きる上で大切なことは何でしょうか?」という大変難しい質問をしました。ガバナーは、「孔子の大切な言葉に“それ恕か”という教えがあります。それは、“己の欲せざるものを、他に施すことなかれ”つまり、「自分が人からして欲しくないことは、人にしてはいけないよ」という意味だと教えられました。つまり、“恕の心”と“拝みあう心”(感謝、尊敬、謙虚)を身につけることが大切だと教えられました。
- ② 奉仕の理想とは
奉仕の理想は「他人に対する思いやりの心、助け合いの心」であり、奉仕の理想は、「古来より、人間社会に存在する高度の倫理感」を指すのです。ロータリアンが奉仕の理想を身につけることは、各自の人柄を高めることに通じます。
- ③ 寛容と忍耐
ポール・ハリスは、「寛容と忍耐」をもって接していけば必ず、心温まる信頼感あふれる生き生きとしたクラブになるでしょう。「お互いに広い心で付き合い、少々ことは辛抱しあう」ことは事業経営の上でも、人生をよりよく生きる上でも大切なことだと言っています。
- ④ 現在の幸福論からロータリーを見る
15年程前に大宮の地区大会のパネリストとして参加した時、草柳大蔵さんの講演「現在の幸福論」を聞きました。幸福論の一つの条件に「他人のために働いた時に感じる喜び、感動」

2, 本年度テーマ「超我の奉仕」について

- ① 「超我の奉仕」は何時生まれたか
1911年8月第2回全米ロータリークラブ連合会がポートランドで開催。アーサー・F・シェルドンは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を発表し、ミネアポリスRCの会長フランク・コリンズは「我々のクラブに創立以来今日まで守り続けた原則があります。それは、“利己ではない、サービスである”即ち“Service not self”であります。」これは、「無私の奉仕」で相談の結果、「Service above self」「超我の奉仕」と改定されました。
- ② 「決議23—34」
「超我の奉仕」は、1923年、アメリカ・ミズリー州セントルイスの国際大会で採択された「決議23—34」の第一項の本文の中に示されています。

3, 「超我の奉仕」を事例から学ぶ

- ① 1991~92年度R.I.会長サブー氏のテーマ「Look Beyond your self」
サブー氏が若い日、カトマンズを訪れた時、道端で片足のない若者が物乞いしている姿に出会いました。そのときは、何も感じることなく完全に頭から消し去っていたのですが、国に帰ってからその光景が頭に甦りました。早速、カトマンズ・ロータリークラブに連絡し、彼を探してもらい、彼に義足と教育を受ける資金を送金しました。数年後、彼は、「尊厳をもって立派に生きる若者に育ってきたのです。」ロータリーは、貧困の中から、世の中を真っ直ぐ見つめ行動できる人を育てることのできる優れた集団であります。
- ② 下村彦右衛門翁のモットー「サービス第一、自己第二」
今から250年前京都の下村彦右衛門という人がいました。一介の行商人から身をおこし、呉服屋「大丸」を創設された。一

代で、江戸、京、名古屋などに大店舗を構え、今日の「大丸」の基礎を築いた。下村翁の標榜した旗頭は、「義を先にし、利を後にするものは栄える」という中国の古語を取り入れ、「富の集積に非ず、利権の獲得にも非ず、唯、取引の誠実と顧客へのサービスである。」を自ら信奉した。そして、「繁栄は之に伴って後からついてくるものである」と教えられた。これは、ロータリーの職業奉仕の貴重な事例と言えましょう。

- ③ ポリオのない世界を目指した、あるロータリアンの闘い
世界のロータリアンが力を合わせ、ユニセフ、WHO、アメリカ、イギリス、日本等の国の協力を得て、20年かけてポリオ計画の終結段階に入った。天然痘撲滅に200年を要したが、更に難しいポリオを20年で終結宣言を可能にしたロータリーの結集力は歴史に残る偉大なものです。
- ④ 超我の奉仕は、貴方の生活の中にあるのです。(職業奉仕)
事業成功の秘訣は、「超我の奉仕」「サービス第一、自己第二」を実践することである。自分の職業生活に「サービス第一、自己第二」を実践することは、事業繁栄につながります。また、職業生活、家庭生活、クラブライフ、地域社会に「奉仕の理想」を適用することで、繁栄の基礎が築かれ、温かい家庭、明るく楽しい信頼感のあるクラブとなるでしょう。地域社会に自分の出来る奉仕をすることで、明るい住みやすい社会になるでしょう。

4, ロータリーの綱領 (The Object of Rotary)

ロータリーの目的を達成する為の最も重要なものが綱領です。綱領は、「ロータリーの目的」なのです。ロータリーの目的は、事業の根底に「奉仕の理想」を定着させ育て上げることである。佐藤千寿バスターガバナーは、渾沌の中で四つの方途は、「1、奉仕の理想に賛成してくれる仲間を増やすこと。2、誰からも道徳的に怪しまれることがないよう誠実に良心的な仕事をする。3、どこでも常にみんなのためになるかどうかを考え、奉仕の精神で行動すること。4、奉仕の理想を掲げ、世界中の人と友達になり、相手国のこともよく理解し、戦争のない平和な世界をつくること。」と語っています。

5, 四つのテストから学ぶ・事業成功のヒント

1954～55年、R.I.会長として活躍されたハーバード・J・テラー氏が神に祈りを捧げた末書き上げた「覚え易く、高慢な倫理に基づく四つのテスト」は、テラー氏の会社の方針で毎朝社員が声を揃えて斉唱し、全員が覚え、会社全体の共通の合言葉となり、社員の名刺の裏に「四つのテスト」を印刷させた。そして、「私たちは、この信条にそって仕事をしています。もちろんこの通りできないかも知れませんが、もし、私の至らない点にお気づきになりましたら、お教え下さい。ご希望に添うよう努力いたします。」このテストは多大の成果を生み出した。5年間で40万ドルの借金を返済、次の15年で100万ドル以上の配当、純資産は750万ドルを超えた。仕事だけでなく、職場・学校・家庭その他諸団体において使われるようになり、高い倫理基準をもったロータリーの諸目的を達成する為に用いられている。

6, 「選ばれたる人」の誇りを持つ(資本主義を守り、正しい事業経営を)「超我の奉仕」は資本主義のあり方と事業経営の秘訣を教えている

ロータリーは本来エリートの組織です。エリートとは、「選り抜きの人々」「社会の中核」という意味ですが、職業分類の原則に基づき推薦され、会員選考委員会において「人格、職業上及び社会的地位、一般的な適性を調査」され、現会員全員に通知し、異議申し立てのない場合に入会が許可される。これだけの手続きを経た人がエリートでなくて何であろうか? しかし、「選ばれたる人にはそれに伴う義務がある。」ことを認識しなければならぬ。西欧に「騎士道」があり、日本に「武士道」があったように、ロータリーには「人生哲学」「超我の奉仕」がある。ロータリアンは共に「選ばれたる人」の誇りを持つてはならない。

7, 栄光に輝くロータリアンたるの幸福

1967年10月の田辺での地区大会で、平沢ガバナーは、感銘深いスピーチをされた。「1、人間たるの幸福。2、健康たるの幸福。3、職業に成果をもつ幸福。4、家庭の理解を持つ幸福。5、ロータリアンである幸福。」この五つの言葉から、「万物の霊長である人間に生まれたこと、健康で日々活躍できる喜び、天職に恵まれた幸福、良き家庭に恵まれた幸福、という人間の幸福の最も基本的な条件と同じレベルにロータリアンである幸福を位置づけておられる」ということに深い感銘を受けたのです。

8, 新世紀のロータリー、その道標となるものは?

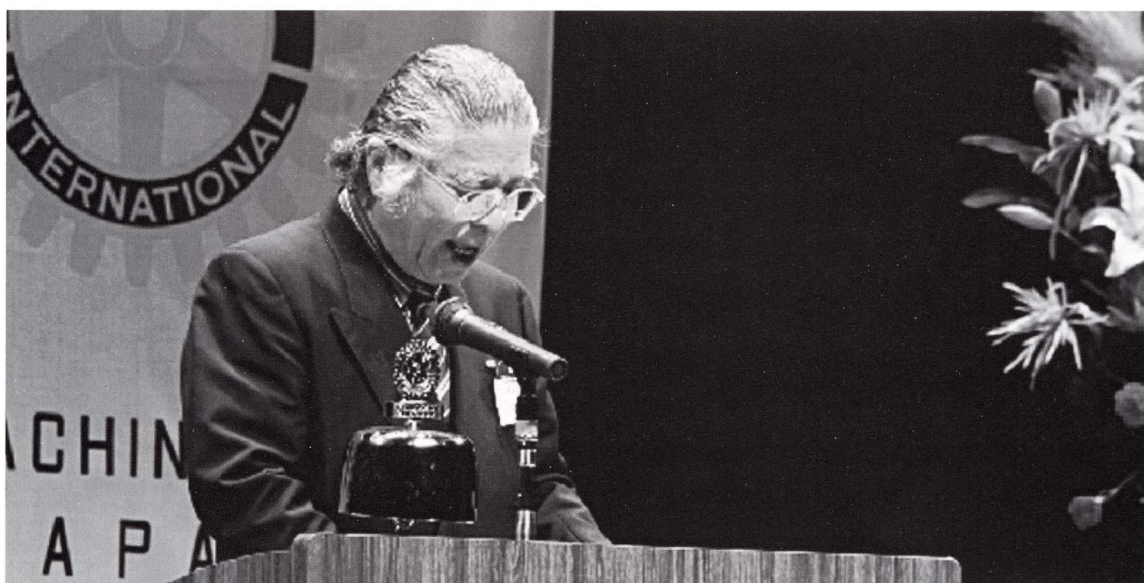
戦争の足音が追った昭和15年、日本のロータリーは崩壊することとなりましたが、会員の有志は、東京水曜会、大阪金曜会などを組織して、ロータリーの心を守り続けた。昭和24年、日本のロータリーは国際ロータリーに復帰し、今日の日本のロータリーを築いてきました。大阪金曜会の会長、飯島幡司(朝日放送社長)さんは、50年在籍の感想として、「ロータリーは人の道ですね、仲良く働いて人のお役にたつこと」と語っておられます。現在のロータリアンは、戦前のロータリアンが苦難を乗り越えて守ってくれたロータリー精神を受け継ぎ、次の世代に繋いで頂く事が大切なのです。ロータリー精神とは、奉仕の哲学(Service above self)「サービス第一、自己第二」を実践することであり

戸田 孝 略歴

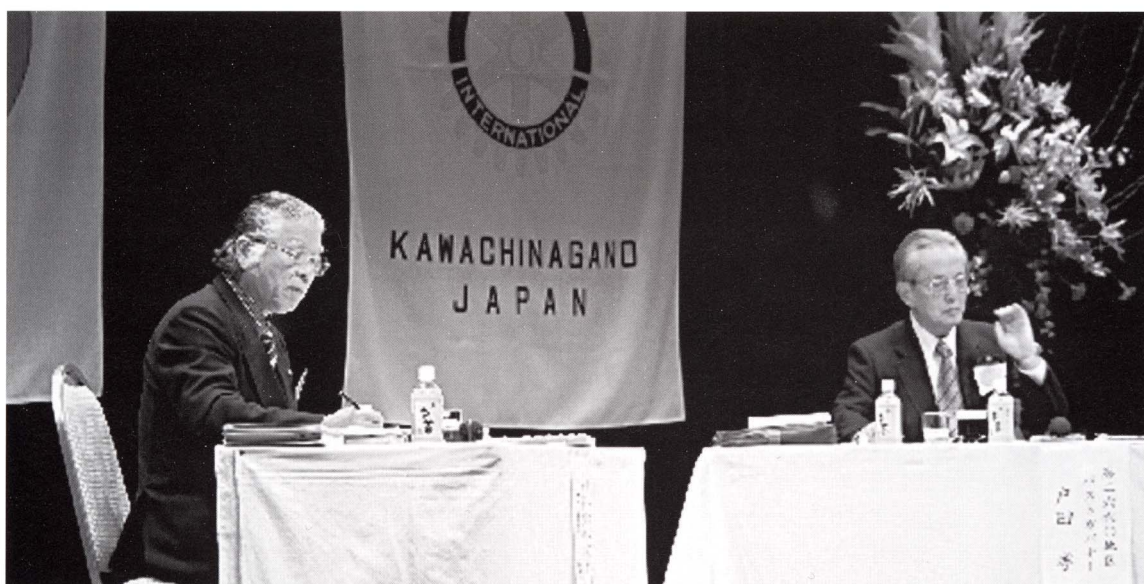
戸田 孝 1926年1月7日生
大阪大学工学部卒業
(株)トヤマビル 取締役社長
(株)創建 社長他
戸田奨学会 会長
大阪大学工業会 理事

1962年 八尾ロータリークラブ入会
1970年 同クラブ会長
1982年 R.I.第2660地区ガバナー
1986年 国際協議会グループ・リーダー
1987年 同上
1989年 ソウル国際大会チーフ・アシスタントS.A.A.
規定審議会・代表議員(シンガポール)
米山記念奨学会・広報委員長
1992年 R.I.リージョナル・リーダーシップコーディネーター
R.I.会長情報カウンセラー
R.I.職業奉仕実行グループメンバー
1998年 ロータリー米山奨学会監事
1999年 ロータリー財団恒久基金日本委員
2000年 R.I.2004年国際大会 国内総統括委員長
2003年 会員増強・退会防止ゾーンコーディネーター
2004年 同上

地区大会
R.I.会長代理
D.2650 京 都
D.2500 北海道
D.2780 神奈川
D.2580 東 京



大澤徳平ゼネラルリーダー



大澤討論リーダー

戸田孝2660地区バスターガバナー

部門別会議(事前会議)



地区財団奨学金委員長 岩本 行弘 他

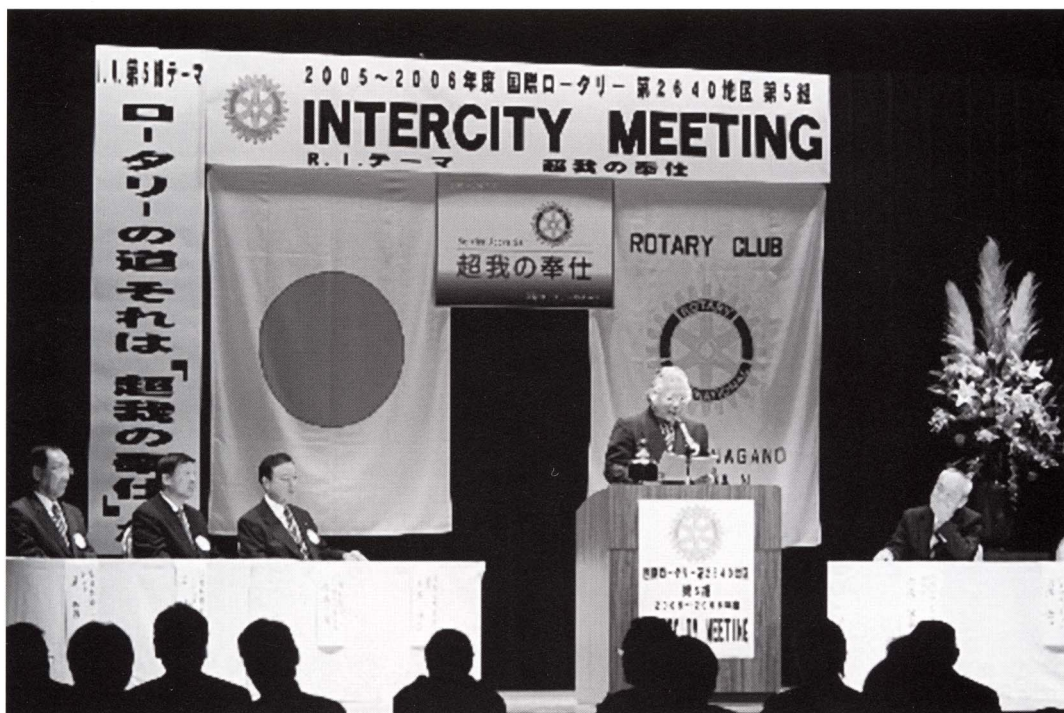


地区米山奨学事業委員長 神谷 尚孝 他



フレッシュ会員の集い(大澤パストガバナー他)

【 総 評 】



ゼネラルリーダー 大澤 徳平

本日のI.M.如何でしたでしょうか？

河内長野ロータリークラブが随分と念には念を入れてのご準備で、ようやく幕が下りようとしております。

しかし、やはり本日の一番は何と申しましても戸田 孝様のお話ではなかったでしょうか。自分が入っているロータリークラブという組織の事が心から分かったのではないかと思います。有り難かったです。もう一度戸田先生に拍手をお願い致します。

成川パストガバナーは、ガバナー時代に月信に

詩を掲載されておりました。それに見習い私も相田みつを氏の詩を読ませて頂き閉めの言葉と致します。

「柔らかな心 木の根が伸びるのは柔らかなから 若葉がひろがるのは柔らかなから かすかな風にも竹がそよぐのは竹が柔らかなから 年をとって困るのは足腰ばかりでなく頭がかたくなることです 心がかたくなることです 柔らかな心を持ちたいものです いつまでも心の若さを保つために」

本日は、有難うございました。

【閉会の辞】



I.M.副実行委員長 谷 洋治

皆さん、今日は長時間の勉強会お疲れ様でした。閉会に当たりまして一言お礼申し上げます。本国際ロータリー第2640地区第5組のI.M.を開催致しましたところ、平尾ガバナーはじめゼネラルリーダーの大澤パストガバナーそして三軒ガバナーエレクト又、部門別会議においては地区役員の皆様に色々ご指導頂き有難うございました。

特に基調講演を頂きました第2660地区パストガバナーの戸田 孝様には大変ご多忙の中I.M.テーマ「超我の奉仕」についてのご講演を頂き誠

に有難うございました。

又、ゼネラルリーダーの大澤パストガバナーには、当I.M.の準備段階よりご指導願ひ、そして、討論会のリーダーも務めて頂き、大変お世話になり有難うございました。

本日もご出席頂きましたI.M.5組各クラブの皆様の多数のご参加とご協力のお陰で、無事終了の運びとなりました。最後に皆様方の益々のご健勝とご多幸、次年度I.M.のご成功をお祈り申し上げ閉会の言葉と致します。



ホストクラブ I.M.実行委員会

実行委員長	塔本 勝
副委員長	谷 洋治
委員	辰己 明
	水上千秋
	井戸清明
	土井 昭

I.M.委員会

	委員長	副委員長
総務	塔本 勝	児山芳彦
企画	谷 洋治	帯屋 勝
会場設営	水上千秋	道簾聖明
登録・受付	井戸清明	藤木 健
接待・案内	西端弘明	菊伊祇京子
記録	土井 昭	阪口武夫
交通	辻 秀和	井上義弘
救護	村口光良	三谷圭三
会計	山崎規男	喜多 治
ソング	濱田郁子	
S.A.A.	辰己 明	森下裕子

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我らのロータリー
ロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ一つ心に
おゝロータリアン おゝロータリアン
2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれまわれ世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン